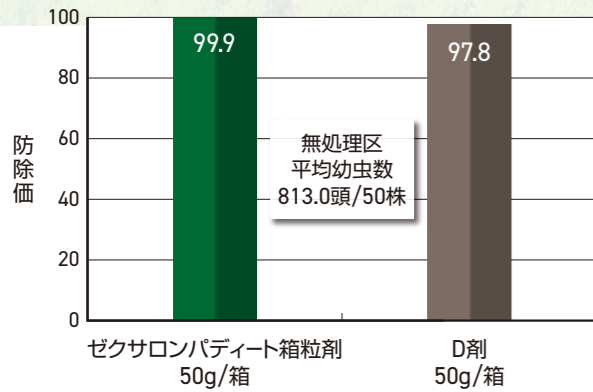




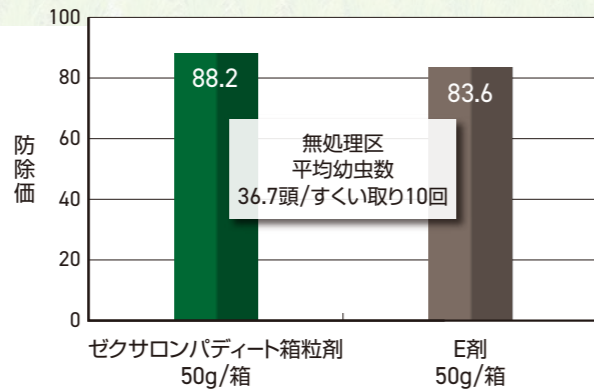
▶ 新農薬実用化試験成績

▶ トビロウンカに対する効果



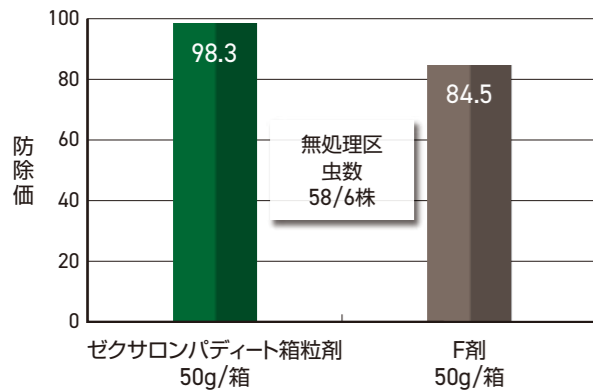
平成28年 クミアイ化学工業 佐賀県現地圃場
品 種：さがびより
区制:面積：1区158.4㎡ (4.8m x 33m)、連制なし
播 種：5月16日 移 植：6月16日
処 理 日：6月16日(移植当日)
発生状況：少発生→多発生
調 査 日：9月21日(移植97日後)
調査方法：50株×3か所について払落し、幼虫数を調査。

▶ ヒメトビウンカに対する効果



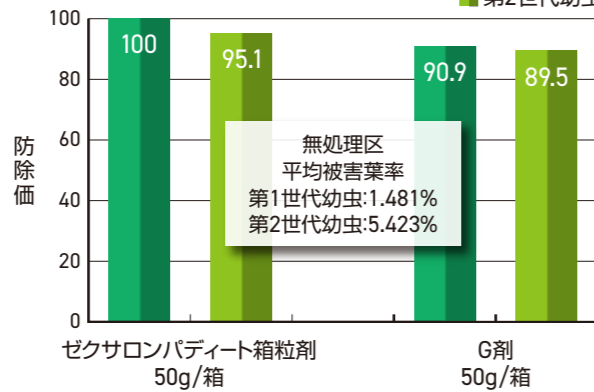
平成28年 (一社)埼玉県植物防疫協会
品 種：彩のかがやき
播 種：5月12日 移 植：5月30日
処 理 日：5月30日(移植当日)
発生状況：中発生
調 査 日：7月28日(移植59日後)
調査方法：すくい取り10回振り×3か所行い、幼虫数を調査。

▶ イネミズゾウムシに対する効果



平成27年 日本植物防疫協会茨城研究所
品 種：コシヒカリ
区制:面積：1区59.8㎡ (3.6m x 16.6m)、2連制
播 種：4月9日 移 植：5月12日
処 理 日：5月12日(移植当日)
発生状況：中発生
調 査 日：6月30日(移植49日後)
調査方法：3株×2か所を掘り取り、根圏部位に生息している虫数を調査した。

▶ コブノメイガに対する効果



平成27年 山口農林総合技術センター
品 種：ヒノヒカリ
区制:面積：1区72㎡ (16.0m x 4.5m)、2連制
播 種：5月28日 移 植：6月19日
処 理 日：5月28日(播種時覆土前)
発生状況：第1世代 少、第2世代 少
調 査 日：第1世代 8月12日、第2世代 9月10日
調査方法：各区50株×2か所について上位3葉の被害葉を計数し、被害率を算出した。



■ 適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニプロールを含む農薬の総使用回数	トリフルメソピリムを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	ウンカ類 イネミズゾウムシ イネドロオウムシ コブノメイガ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当たり50g	は種時 (覆土前) ～ 移植当日	1回	育苗箱の上から均一に散布する。	1回	1回
	ウンカ類 イネミズゾウムシ コブノメイガ		は種前		育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する。		
	イネドロオウムシ		は種前		育苗箱の覆土に均一に混和する。		

【使用上の注意事項】

- 所定量を育苗箱中の苗の上から均一に散布してください。なお、葉に付着した薬剤は軽く払い落としてください。
- 育苗箱の土壌表面が乾燥していて苗を田植え機にのせる際、薬剤が落下するおそれがある場合は散布後葉に付着した薬剤を払い落とした後軽く灌水してください。
- 軟弱徒長苗、老化苗、むれ苗などでは薬害を生じるおそれがあるので使用をさけてください。
- 本田の整地が不均整な場合は、薬害を生じやすいので代かきは丁寧におこない、移植後田面が露出しないように注意してください。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

本資料は2019年2月現在の知見に基づいて制作しております。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●防除日誌を記載しましょう。

1658(19-2)



自然に学び 自然を守る
クミアイ化学工業株式会社
本社：〒110-8782 東京都台東区池之端1-4-26 TEL.03-3822-5036
ホームページアドレス http://www.kumiai-chem.co.jp

水稲 殺虫剤 / 育苗箱施用剤

ゼクサロンパデイト
ZEXALON PADEET



powered by PYRAXALT™
powered by CYAZYPYR®
ACTIVE INGREDIENT
* 商標が記された表示は、デュポン・ダウ・アグロサイエンスもしくはバイオニアならびにこれらの関連会社または各所有者の商標です。
CYAZYPYR®、サイアジピル®、パデイト®は、FMC Corporationまたはその米国およびその他の国の子会社・関連会社の登録商標です。

▶ 特長

■ ウンカ類に卓効を示す新規有効成分ピラキサルト™（一般名:トリフルメゾピリム）を配合。

新しい作用性により、既存薬剤に抵抗性を示すウンカ類にも高い効果、長い残効性を示します。ピラキサルト™の高い効果でヒメトビウンカによるイネ縞葉枯病媒介防止効果が期待できます。

■ サイアジビル®により初期害虫、チョウ目に高い効果を示します。

■ は種前～移植当日まで使用できます。



トビイロウンカ



ヒメトビウンカ



コブノメイガ



イネドロオイムシ

▶ 有効成分と物理化学的性状

商品名：ゼクサロンパデット箱粒剤

農林水産省登録：第24133号

開発コード：KUM-1501箱粒剤

種類名：シアントラニリプロール・トリフルメゾピリム粒剤

性状：類白色細粒



有効成分	シアントラニリプロール	トリフルメゾピリム
含有量	0.75%	0.75%
化学名	3-プロモ-1-(3-クロロ-2-ピリジリル)-4'-シアノ-2'-メチル-6-(メチルカルバモイル)ピラゾール-5-カルボキサニド	3,4-ジヒドロ-2,4-ジオキソ-1-(ピリミジン-5-イルメチル)-3-(α,α,α -トリフルオロ- <i>m</i> -トリル)-2 <i>H</i> -ピリド[1,2- <i>a</i>]ピリミジン-1-イウム-3-イド
構造式		
分子量	473.72	398.34
水溶解度(20℃)	14.2mg/L	230mg/L

▶ 安全性

■ 製剤安全性

人畜毒性(製剤):普通物(毒物・劇物に該当しないものを指している通称)

急性経口	ラット♀	>2000mg/kg
急性経皮	ラット♂♀	>2000mg/kg
皮膚刺激性	ウサギ	軽度
眼刺激性	ウサギ	ごく軽度
皮膚感作性	モルモット	感作性なし

■ 水産動植物への影響

魚類急性毒性	コイ	>1000mg/L (96h)
ミジンコ類急性遊泳阻害	オオミジンコ	0.23mg/L (48h)
藻類生長阻害	緑藻	>1000mg/L (72h)

▶ 作用機構

ピラキサルト™（一般名:トリフルメゾピリム）

■ 作用機構と活性

ピラキサルト™は新規の作用機構を持つメソイオン系殺虫剤です。IRAC(殺虫剤抵抗性対策委員会)の分類ではグループ4の新サブグループである4Eに分類されている唯一の成分です。グループ4の殺虫剤は害虫の神経伝達物質・アセチルコリンの受容体であるニコチン性アセチルコリン受容体(nAChR)に作用しますが、サブグループにより作用性は異なります。

害虫は正常状態では神経伝達チャンネルを開閉しイオンを適量透過させることで神経伝達を行っています。グループ4Aのネオニコチノイド系殺虫剤は受容体チャンネルを開いた状態でロックし異常興奮を引き起こすのに対して、グループ4Eのピラキサルト™は受容体チャンネルを閉じた状態でロックし脱感作(昏睡)状態を引き起こします。ネオニコチノイド系殺虫剤抵抗性の一因である解毒酵素は、新規化合物であるピラキサルト™に影響を示さないことが確認されています。そのため、ピラキサルト™は既存薬剤抵抗性ウンカにも効果を発揮します。

▶ ニコチン性アセチルコリン受容体への作用

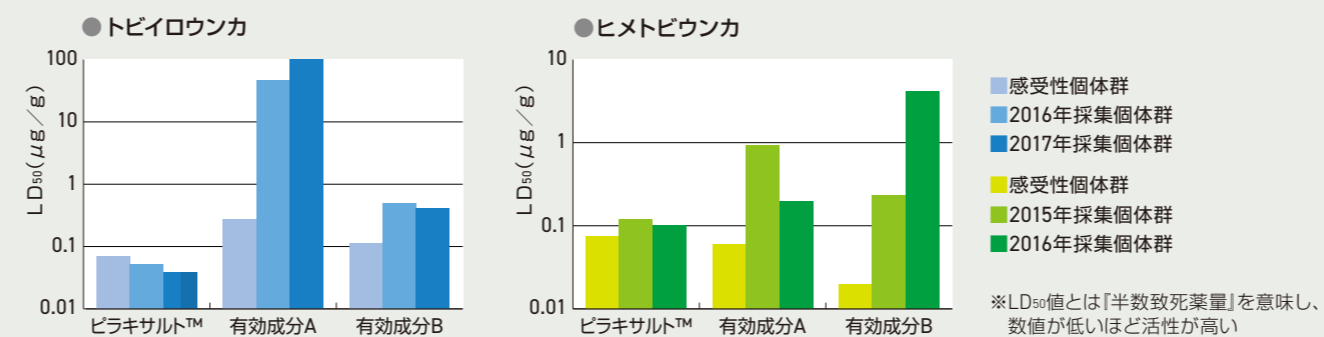
- ◆ アセチルコリン受容体
- ⊕ ナトリウムイオン
- ◆ ネオニコチノイド
- ◆ ピラキサルト™



■ 既存薬剤抵抗性ウンカにも高い効果

ウンカ類に対する感受性検定試験では、薬剤感受性低下が確認されている個体群に対しても、ピラキサルト™は感受性個体および抵抗性個体の両方にほぼ同等の薬量で殺虫活性を発揮することが確認されました。

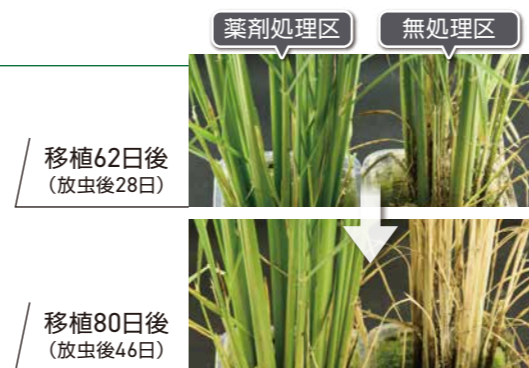
▶ 殺虫剤抵抗性のウンカ類に対するピラキサルト™の殺虫活性(JA全農営農・技術センター)



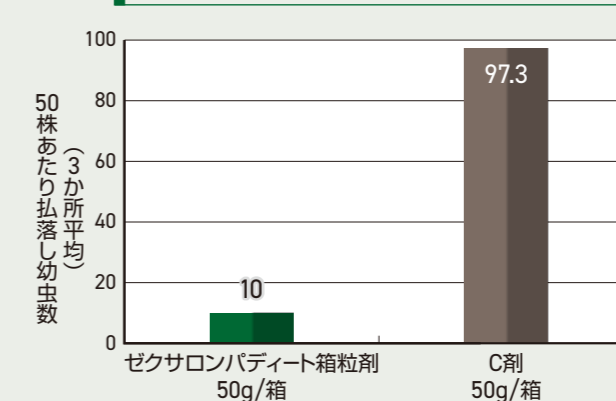
トビイロウンカに対する効果(社内試験)

試験場所：クミアイ化学工業(株)生物科学研究所
供試虫：トビイロウンカ(2016年佐賀県採集個体群)
供試作物：イネ(品種:キヌヒカリ)2018年1月26日移植
供試薬剤：ゼクサロンパデット箱粒剤 50g/箱相当 移植当日処理
放虫条件：移植34日後から69日後まで、約7日おきにトビイロウンカ成虫(雌5頭、雄2頭/株)をグロースチャンパー内に放虫した。

無処理区のイネがほぼ枯死するグロースチャンパー内の連続放虫条件下において、薬剤処理区ではトビイロウンカの増殖がほとんど認められなかった。

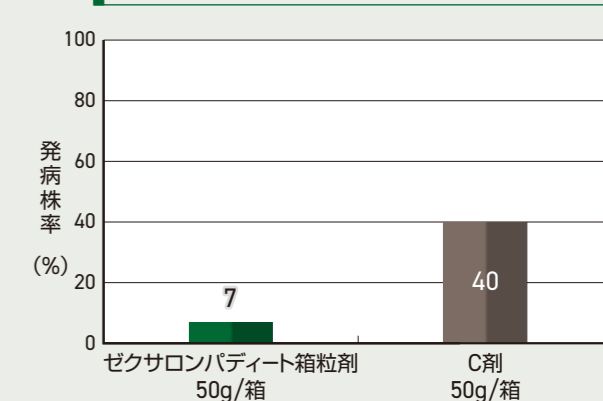


ヒメトビウンカに対する効果



平成29年 クミアイ化学工業(株) 社内試験
試験地：群馬県館林市
品 種：コシヒカリ
処 理 日：5月12日
移 植 日：5月14日
調 査 日：7月3日(移植50日後)
調査方法：50株×3か所について粘着板へ払落し、虫数を数えた。

縞葉枯病に対する効果



平成29年 クミアイ化学工業(株) 社内試験
試験地：群馬県館林市
品 種：コシヒカリ
処 理 日：5月12日
移 植 日：5月14日
調 査 日：8月1日(移植79日後)
調査方法：100株×3か所について穂の出すくみ及びゆわらい症状を呈する株数を調査し、発病率を算出した。

シアントラニリプロール

筋肉細胞の筋小胞体は細胞内のカルシウムイオン濃度を調整することにより筋肉の収縮・弛緩をコントロールしています。

シアントラニリプロールは、筋小胞体のリアノジン受容体(RyR)に結合して筋小胞体内のカルシウムイオンを細胞内に放出させます。その結果、対象害虫は筋収縮を起こし速やかに活動を停止し、死亡します。

- ①コウチュウ目、チョウ目、及び一部のカメムシ目に高い効果を示します。
- ②既存薬剤に効果が低下した害虫にも高い効果を示します。
- ③主に経口で作用を発揮し、速やかに食害・吸汁害を停止させます。
- ④イネ体内への浸透性に優れています。
- ⑤長い残効を有します。
- ⑥人畜・鳥類・魚類への安全性が高く、天敵類へも高い安全性を有します。

■ 速やかな摂食阻害と作物保護作用

